

金井JAXA宇宙飛行士 記念講演開催

宇宙教育 念願叶う

宇宙教育。アトム宇宙探検隊10周年記念行事として、金井JAXA宇宙飛行士が認定こども園星岡に来園。第54次、55次滞在経験のある宇宙飛行士の来園に星岡が湧いた。アトムグループ全体行事として記念講演を開催し、来賓の皆様や地域の方々、近隣の小学生や卒園児などスタッフ含め800名が参加。在籍している園児も参加し、目を輝かせながら講演を傾聴した。

(松山認定こども園 星岡)



右→…金井宇宙飛行士来園(中央)で迎える職員一同
下↓…自身の体験談を話す、金井宇宙飛行士



金井宇宙飛行士は一九七六年生まれ。二〇〇二年防衛医科大学校卒。外科医師・潜水医官。二〇〇九年九月、JAXA入社。二〇一一年にJAXA宇宙飛行士に認定。二〇一七年一月にIS第54次/第55次長期滞在クルーのフライトエンジニアとして六ヶ月間の長期滞在。滞在中はミッションテーマの「健康長寿のヒントは宇宙にある」に基づく各種利用実験活動のほか、船外活動やドラゴン補給船運用一四号機(SPX14)の把持などを実施した。

宇宙飛行士になるためには…



「成功したミッションと失敗したミッションは？」と来場者からの鋭い質問。小さな失敗はたくさんある。でも地上にいるみんながカバーしてくれます。」とチームワークの大切さを力説。また「宇宙飛行士になりたい」という質問には「誰にも負けない強みを作ること。あとは友達や仲間とのチームワークや、家でのお手伝いをしっかりすること」との答えには拍手があがった。さらに高校生から「宇宙人はいいますか？」との質問には「地球外生命体は必ずいる。」(アストロバイオロジー)と宇宙飛行士ならではの専門用語を用いた答えを披露。たくさんの質問にも全て丁寧に答えていた。



上↑) 第二園庭芝生にて記念植樹。

子ども達が一番興味を惹かれたのは「宇宙での過ごし方」。ほら、食は進化を遂げておとな生活が出来る。体力が気に入り。試してみると、地上よりも同じロシア人クルーにも大好評で配ってられない。プライベーターの生活にたくさんの電話やメールなど疑問を持っていた子ども達だが、宇宙での家族とも連絡を取らなくても大丈夫だ、宇宙での生活のこと。土日休みで残業はなし！

然としていた。



アトム宇宙探検隊 OP での雄姿



10年前。愛媛大学宇宙進化研究センター谷口教授の「君たちだって宇宙人なんだ」の一言から全ては始まった。あれから10年、年長児の伝統として宇宙探検隊は引き継がれてきた。グループでのイベント出演や地域の方々との交流、時には中国の来園者にもお披露目することがあり、認定こども園星岡といえば「アトム宇宙探検隊」と多くの人に浸透し、いつからか年長児の憧れの舞台となってきた。普段は思い切り遊び、工夫し悩み、イベント事になると気持ちを切り替え「静と動」の象徴ともなってきた。そんな宇宙探検隊10周年の集大成として迎えた本イベント。イベントが決まってたくさん練習を重ねた姿。制服や敬礼の位置など細部にまでこだわった姿。幕が開くと大きな拍手。きつと緊張もあったはず、しかしさすがは年長児、年長に進級し成長した姿をたくさんの人々に披露した。

左上) 金井宇宙飛行士記念講演で、オープニングアクトを務めた宇宙探検隊
左下) 記念植樹前、金井宇宙飛行士との写真撮影
下) 記念すべきアトム宇宙探検隊1期生



東亜天文学会山田理事長来園。小惑星Hoshioka命名に尽力し、イベント開催時に視くことは難しいが、実際の大きさは6kmあり、本園から松山城までの距離程の大きさがあつたこと。来場者からは驚きと分かちやすい解説に拍手が起こつた。

上↑) イベントに登壇し、拍手を送る東亜天文学会の山田理事長(左)

宇宙教育の次なる目標とは…

来園した金井JAXA宇宙飛行士。宇宙飛行士という職業はどこか現実から遠い存在だった。だが今回の来園で金井宇宙飛行士の人柄に触れ、イメージが変わつたと話す関係者もいた。どこか親近感を感じ、同時に尊敬する職業であり、自分の研究を追及する姿に胸を打たれた。



さて終わりに。10周年の記念行事として開催された本イベント。次の20周年に向けて、突き進む星岡。未来の宇宙飛行士はこの星岡から誕生するのだろうか。「20周年も是非呼んで下さい」と金井宇宙飛行士。今後の活躍に目が離せない。



左右 小惑星Hoshiokaの命名書と翻訳

Published on behalf of the International Astronomical Union by the WG Small Bodies Nomenclature

The International Astronomical Union

WG Small Bodies Nomenclature Bulletin

Working Group Small Bodies Nomenclature (WGSBN)

The MINOR PLANET CIRCULARS

(15786) Hoshioka

Discovery: 1993-09-17, K. Endate, K. Watanabe / Kitami / 400

Hoshioka is a kindergarten founded in 1978 by the Matsuyama Gakuen Educational Corporation in Matsuyama City, Ehime Prefecture. It is known for its annual space-themed educational programs in cooperation with the Japan Aerospace Exploration Agency.

24 Oct. 2022 WG Small Bodies Nomenclature Bulletin Vol. 2, #14 5

小惑星命名委員会より国際天文学会を代表して出版されています。

国際天文学会

小惑星命名委員会

Working Group Small Bodies Nomenclature (WGSBN)

国際天文学会連合の特別委員会はこの部会に賛成しました。

The MINOR PLANET CIRCULARS

(小惑星センターが発行する月刊の科学雑誌)

2022 小惑星センター ミニシアター天文台観望会

タンブリング ヤマタレーゼンツ 022.08 アメリア会館

Mercury (水星) Vernal equinox (春分点)

Earth (地球) Mars (火星)

Venus (金星)

(15786) Hoshioka

発見: 1993年9月18日 / K. Endate, K. Watanabe / Kitami / 400

(発見された日/発見者/発見された場所の観望ローソ)

松山認定こども園星岡は1978年、愛媛県松山市に学校法人松山学園によって設立された幼稚園(認定こども園)である。毎年、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の協力のもと宇宙をテーマにした教育プログラムを行っている。

2022年10月24日 WG Small Bodies Nomenclature Bulletin Vol. 2, #14 5 印刷